

静岡県地域史研究会報

— 静 岡 県 地 域 史 研 究 会 —

第四十五回総会報告

第四十五回総会及び記念講演は、去る九月二十三日（火、祝日）午後二時より静岡市葵区のあざれあを会場に開催された。次第は次の通り。

- 一 総会
- (二) 議長選出
- (三) 会務報告
- (四) 研究誌報告
- (五) 会計監査報告
- (六) 新年度役員選出
- (七) 新年度の活動方針
- (八) 新年度の予算審議
- (九) その他

二 記念講演

「上方・江戸間の海運史――幕藩制流通構造の一端――」

講師 日本福祉大学教授 曲田浩和氏

総会は、森田香司氏の司会により始まつた。小和田折男会長の挨拶の後、議長に柴雅房氏を選出し、右記の次第にしたがつて進められた。議事詳細については、後掲の通りである。午後三時から記念講演が行われ、午後五時に散会した。

加者が一桁になつてしまふ。
報告者、報告内容によつて参加人
数に差が出る。

記念講演の要旨は、来年九月刊行する研究誌第十六号に収載する予定である。

報告内容は、中世に偏つてしまつた。古代1、中世9、近世が1で大きくバランスを欠いてしまつた。（七月例会は近世の予定であつたが、急きよできなくなつてしまつた。）

二〇二四度会務報告・研究誌報告・会計報告・会計監査報告

一年間の例会十回で計一一六名参

加→1回の参加者は昨年より七名減づた。

減つた理由は、書評会が多すぎた

こと。十月・十一月・二月・四月・五月と五回行つた。『東海の中世史』の書評会は関心が高く多かつたが、そうでないものは少なかつた。

例会参加者が十名以下の例会は十一月・十二月・二月だつた。

特に二月例会は、報告者四名司会者一名以外は二名しか参加者がいなかつた。とてもいい書評会でレベルの高い話し合いができたものの、会員（幹事）の関心が低いことはとても残念だつた。

卒業論文発表会ができた。二人共大学院に進学しており、これから的研究も期待できる。

県外報告者が多かつた。（山崎氏一月、藤原氏二月・五月、小川氏二月、氏戸氏六月）

したがつて、交通費補助も例年の倍以上になつてしまつた。

幹事の報告が少ない（本多・小林・森田・柴・前田・三宅が報告）。

会場はなんとか確保できたが、教育会館や歴史博物館以外だと、参

（五名参加）

◆十月例会 十月二十六日（土）
例会の開催

静岡歴史博物館講座室十五名参加

書評会 原田千尋氏著『今川義元―守護

大名から戦国大名へ』

書評者 森田香司氏・前田利久氏・小

林輝久彦氏

◆十一月例会 十一月二十三日（土）
あざれあ第1会議室（六名参加）

書評会『諸国往反の社会史』 森田香

司氏

◆十一月例会 十二月七日（土）
（五名参加）

静岡県教育会館地階D会議室

本報告は、尾張国那古野荘を本貫とする那古野今川氏とその分流である伊勢今川氏の興亡を、系譜的展開を中心に検証した。一次史料と先行研究を基に、以下の三点を詳細に考察した。第一に、那古野今川氏の出自と系譜を分析。足利(吉良)氏を源流にもつ今川氏が、公家との婚姻を通じて那古野荘に基盤を確立し、室町幕府奉公衆一番衆として独自の地位を築いた過程を解明した。『難太平記』から公卿との重縁関係が確認され、建武年間の新田義貞との戦いでの武功によって足利尊氏から「御一流」と承認され駿河今川氏の連枝となつた。『水野家文書』にみえる今川三郎朝氏や『応永記』に見える今川名越三郎もその系譜に連なると推定した。第二に、明応の政変や遠江係争を背景とする那古野今川氏の没落と、「尾之今河氏」の存在を検討。『船田後記』の「尾之今河氏」は、那古野今川氏とは別系統の尾張守護今川氏後裔と推定し、那古野今川氏の没落は、斯波氏被官による押領が原因とした。『実隆公記』にある水野氏の愛知郡進出や織田氏の愛知郡への進出によって今川の影響力が低下していたことを確認。永正年間ににおける那古野新五郎による復興と、今川氏豊期の那古野城陥落による滅亡も検証。『名古屋合戦記』の氏豊は新五郎と竹王丸の事績を統合した人物像と推測し、織田信秀の奇襲が滅亡の契機とした。第三に、伊勢今川氏の成立と活動を解

明。『親元日記』や『応仁別記』から、応仁の乱期に外様衆として禁裏警固を務め、戦国期には北畠氏仕え、後に織田氏鞍替えして存続した経緯を分析。『織田信雄分限帳』の今川源三郎や『勢州軍記』の今川氏朝がその後裔と推定した。今後の課題として、駿河今川家との関係性や伊勢今川氏の系譜的繋がりのさらなる解明が求められる。本報告では、那古野今川氏が地域的変遷の中で独自の存立基盤を模索し、伊勢への分流を通じて存続した一族であることを明らかにした。

【例会案内】 ★十一月例会

十一月二十二日（土）午後二時

静岡市歴史博物館講座室
静岡市歴史博物館所蔵三浦文書の見
学及び史料解説 鈴木将典氏

事務局より へ 計 報

去る十月十三日、前会長である
川崎文昭氏が永眠されました。
(享年八十三歳)

川崎氏は、会発足時より事務局長を担当し、二〇〇一年（平成十六年）まで会長を務められました。ここに弔意を表し、氏の冥福を祈りたいと思います。

① 歴史随想の募集・研究報告 の依頼 事務連絡

幸い、報告希望の方が多く、
二月までは報告者は決まってい
ます。

三月は卒業論文発表会のため、静岡大
や静岡文芸大にお願いしていきます。

（○九〇一七〇三一〇七二三）
森田香司
（事務局連絡先）

② 会費納入のお願い
会誌一五号に振り替え用紙を同封しま
す。

③ なお、本年度の例会日及び
例会会場を

したので、まだ会費を納入されていない
会員は納入をお願いします。
で、会員の皆様にはぐれぐれも間違われ
ないよう、また、多数御参加いただけ
るようお願いします。

2024年度静岡県地域史研究会決算書支出の部

No.	科 目	予算額	決算額	対予算比	内 訳
1	会場費	30,000	29,820	-180	教育会館4回、静岡市歴史博物館3回 *、あざれあ、沼津市立図書館、アクティシティ浜松
2	例会案内・郵送費	50,000	25,520	-24,480	会報郵送代・切手代等
3	会報印刷費	25,000	0	-25,000	インク、コピ一代等
4	交通費補助	50,000	70,000	20,000	1・3・5・6月各1人、2月3人、計7名
5	会誌編集刊行費	200,000	164,338	-35,662	14号会誌 印刷・郵送・校正等
6	事務費	15,000	30,157	15,157	コピー・インク・封筒・通信費等
7	総会費	115,000	82,900	-32,100	会場費、総会資料コピー、講師謝礼等
8	予備費	698,000	35,099	-662,901	ホームページ(スマイルサーバ)利用料
	合計	1,183,000	437,834	-745,166	

2024年度決算書収入の部

No.	科 目	予算額	決算額	対予算比	内 訳
1	繰越金	848,857	848,857	0	前年度繰越金
2	年会費	324,000	321,000	-3,000	総会 27 名、例会 4 名、振込 64 名、過年度分 9 名、合計 103 名分 94 名 × 3,000 円 + 9 名 × 4,000 円 = 321,000 円
3	書籍売上	10,000	41,000	31,000	
4	雑収入	143	0	-143	
	合計	1,183,000	1,210,857	27,857	

2025年度予算案収入の部

No.	科 目	本年度予算額	前年度予算額	対前年比	内 訳
1	繰越金	773,023	848,857	-75,834	
2	年会費	330,000	324,000	6,000	3,000 円 × 110 名
3	書籍売上	10,000	10,000	0	1,000 円 × 10 冊(ホームページ開設により増加傾向)
4	雑収入	77	143	-66	
	合計	1,113,100	1,183,000	-69,900	

今現在の予約状況（すべて土曜日です）

10月25日 静岡県教育会館也皆D会議室予約済
 11月22日 静岡市歴史博物館講座室依頼済済
 12月 6日 静岡県教育会館也皆D会議室予約済
 1月24日 静岡県教育会館也皆D会議室予約済
 2月21日 三島市郷土資料館講座室予約済
 3月 7日 静岡県教育会館也皆D会議室予約済
 4月25日 静岡県教育会館也皆D会議室予約済
 5月23日 静岡県教育会館也皆D会議室予約済
 6月21日 アクトシティ研修センター予約予定
 7月25日 静岡県教育会館也皆D会議室予約済

2025年度予算案支出の部

No.	科 目	本年度予算額	前年度予算額	対前年比	内 訳
1	会場費	28,940	30,000	-1,060	静岡歴博 1,250 × 2 回、教育会館 3,700 × 6 回、三島市郷土資料館(無償)、アクトシティ浜松 4,240
2	ホームページ運営費	54,780	0	54,780	新設。(利用料 4,400 + 振込手数料 165) × 12 ヶ月
3	交通費補助	50,000	50,000	0	例会交通費(東京等遠方より)10,000 × 5
4	会誌編集刊行費	200,000	200,000	0	15 号会誌 印刷・郵送・校正等
5	事務費	30,000	15,000	15,000	コピー・インク・封筒・通信費等
6	総会費	115,000	115,000	0	会場費、総会資料コピー、講師謝礼、文字起こし等
7	予備費	634,380	698,000	-63,620	
	合計	1,113,100	1,108,000	5,100	

静岡県地域史研究会報 第263号

2025年11月 5日発行

静岡県地域史研究会

<https://www.shizuoka-chiikishi.jp/>
 <shizuokachiikishikenkyukai@gmail.com>

会長 小和田哲男

事務局長 森田香司 090-7023-0733

会計担当 三宅真人 080-4037-8478

[会費納入先]

三宅真人 気付 TE L080-4037-8478

郵便振替口座 00880-3-63062

(年会費 3000 円)

繰越金
(会計監査報告)

773,023 円

2025年9月7日 監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。会計監査 小川 勝 青木茂久

